

## 認定資格講座と認定資格の概要

### JP1

認定資格名	習得スキル/認定スキル	認定講座名
・JP1 認定 セールスコディネーター	お客さまに対し適切なJP1の提案、見積もりができるセールスキルを習得したエンジニアを認定します。	・JP1 セールスコディネーター — 提案・見積もり —
・JP1 認定エンジニア	JP1全般を理解しており、運用に必要なテクニカルスキルを習得したエンジニアを認定します。	・JP1 エンジニア — 機能概説 —
・JP1 認定プロフェッショナル	JP1の各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを習得したエンジニアを、カテゴリ毎に認定します。	JP1プロフェッショナル (各カテゴリ別講座) ・統合管理(2講座) ・資産・配布管理(3講座) ・ネットワーク管理(2講座) ・アベイラビリティ管理 ・セキュリティ管理 ・ストレージ管理(2講座) ・ジョブ管理(2講座) ・ITリソース管理
・JP1 認定コンサルタント	JP1各カテゴリ製品について、適切なコンサルテーションができるテクニカルスキルを習得したエンジニアを、カテゴリ毎に認定します。	・JP1 コンサルタント (各カテゴリ別講座) ・統合管理 ・ジョブ管理 ・セキュリティ管理 ・アベイラビリティ管理 ・資産・配布管理 ・ネットワーク管理
・JP1 認定 シニアコンサルタント	JP1製品について、トータルソリューションを実現するためのコンサルテーションができるテクニカルスキルを習得したエンジニアを認定します。	—

### Cosminexus

・Cosminexus 認定 セールスコディネーター	お客さまに対し適切なCosminexusの提案、見積もりができるセールスキルを習得したエンジニアを認定します。	・Cosminexus セールスコディネーター —提案・見積もり—
・Cosminexus 認定エンジニア アプリケーションサーバ	Cosminexus アプリケーションサーバのインストールや、基礎的な環境構築ができるテクニカルスキルを習得したエンジニアを認定します。	・Cosminexus エンジニア アプリケーションサーバ —システム構築基礎—
・Cosminexus 認定 プロフェッショナル アプリケーションサーバ	Cosminexus アプリケーションサーバを使用したWebシステムの設計・構築ができるテクニカルスキルを習得したエンジニアを認定します。	・Cosminexus プロフェッショナル アプリケーションサーバ1 —システム設計・構築— ・Cosminexus プロフェッショナル アプリケーションサーバ2 —トラブルシューティング—
・Cosminexus 認定 プロフェッショナル サービス統合	CosminexusのSOA関連製品の適用方法や、基本的なSOA製品を使用したシステム設計・開発ができるテクニカルスキルを習得したエンジニアを認定します。	・Cosminexus プロフェッショナル サービス統合1 —SOAの適用— ・Cosminexus プロフェッショナル サービス統合2 —システム設計・BP開発—
・Cosminexus 認定 コンサルタント Webシステム	Cosminexusを使用したWebシステムの性能設計や性能対策を行えるテクニカルスキルを習得したエンジニアを認定します。	・Cosminexus コンサルタント Webシステム —性能設計・性能対策—

### HiRDB

・HiRDB 認定 セールスコディネーター	お客さまに対し適切なHiRDBの提案、見積もりができるセールスキルを習得しているエンジニアを認定します。	・HiRDB セールスコディネーター
・HiRDB 認定 プラットフォームエンジニア	インストールや環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、データロード/アンロード、再編成、リソース管理)など、データベース管理者として必要な知識を習得しているエンジニアを認定します。	・HiRDB SQL基礎 ・HiRDB データベース管理
・HiRDB 認定 プラットフォーム プロフェッショナル	HiRDBを効率的に運用するためのパフォーマンス診断やそれに基づくチューニングに関する知識、障害状況に応じた対策を行うための知識、また、HiRDBパラレルサーバの知識を習得しているエンジニアを認定します。	・HiRDB パフォーマンスチューニング ・HiRDB バックアップリカバリとクラスタリング ・HiRDB パラレルサーバ構築
・HiRDB 認定 アプリケーションエンジニア	HiRDBにアクセスする業務アプリケーションを開発するための知識を習得しているエンジニアを認定します。	・HiRDB アプリケーションプログラミング基礎
・HiRDB 認定 アプリケーション プロフェッショナル	HiRDBに適した処理効率のよい業務アプリケーションを開発するための知識や、他社DBからのアプリケーション移行のポイントに関する知識を習得しているエンジニアを認定します。	・HiRDB アプリケーションプログラミング応用

#### ■認定資格制度のお問い合わせ

ご不明な点は、日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。

## 日立オープンミドルウェア 技術者認定センター

お問い合わせ窓口

<http://www.hitachi.co.jp/soft/cert/contact/>

#### ■製品に関するお問い合わせ

### HMCC(日立オープンミドルウェアお問い合わせセンター)

日立オープンミドルウェアに関する製品情報、サポートサービス、ライセンス、価格など、ご購入前のご質問に、選任スタッフが直接回答します。

**0120-55-0504**

利用時間 9:00~12:00 13:00~17:00

(土・日・祝日、弊社休日を除く)

携帯電話、PHS、一部のIP電話など上記フリーダイヤルがご利用いただけない場合は、ダイヤルイン:044-850-9293(通話料金はお客様のご負担となります)

日立オープンミドルウェア  
認定資格制度のご案内

**HITACHI**  
Inspire the Next

# JP1

# Cosminexus

# HiRDB

認定資格制度のご案内

ビジネスに不可欠なIT基盤を確実にささえるために

# 日立オープンミドルウェア 認定資格制度

<http://www.hitachi.co.jp/soft/cert/>

## 認定資格講座

日立はオープンミドルウェアを使用した業務での「身につけたい」に応えます。

日立オープンミドルウェア認定資格講座は、ITシステム基盤「JP1」「Cosminexus」「HIRDB」の3製品の運用・維持に携わる一定スキルの習得と、販売および構築に携わるエキスパートの育成を効率よく実現する研修講座です。

製品導入をご検討されている方から、既に構築・運用されている方、販売に携わる方まで、それぞれのレベル（初心者～上級者）や立場に応じた講座を各種ご用意しております。



## 習得スキル

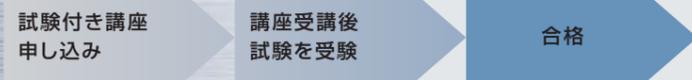
レベル講座を推奨コース順に受講いただくと、今まで知らなかった製品の機能を包括的に知ることができ、日立オープンミドルウェア製品の強みを最大限に活かした構築・運用のノウハウが習得できます。また、パートナーさま向けには、お客さまに対し適切な提案・見積もりができるセールススキルを習得するセールスエンジニア向けの講座もご用意しております。

## 認定資格試験

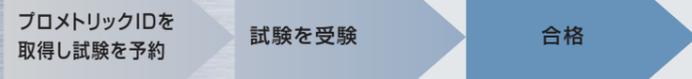
認定資格試験は、株式会社日立インフォメーションアカデミーおよびプロメトリック株式会で実施しております。プロメトリックの試験会場は、北海道から沖縄まで全国100カ所以上、土曜日・日曜日や夜の受験が可能な会場もあり、ご都合のよい会場を選ぶことができます。また、コンピュータを利用した試験方式により、受験後に試験結果がその場で分かります。

## 認定資格取得までの流れ

日立インフォメーションアカデミーで受験する場合



プロメトリックで受験する場合



### 自習教材をお探しの方へ

試験対策  
テキストも  
好評発売中



翔泳社 出版



## 認定資格試験準拠

日立オープンミドルウェア認定資格制度では、認定資格講座のほか、習得スキルの指標となる認定資格試験も実施しております。認定資格講座終了後に認定資格試験がその場で受験できる試験付き講座もご用意しておりますので、効率的なスキルアップ・キャリアアップにぜひ、お役立てください。

## 認定資格取得者の特典

認定証、認定ロゴシールのご提供

名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールをご提供いたします。印刷して使用できるデータもご提供しております。

認定資格取得者専用ホームページや専用メールサービス

専用ページやメールで、バージョンアップなどの最新情報や継続してスキルアップを図るための技術情報をご提供しております。



充実した講座体系、専門講師陣があなたをJP1スペシャリストに

ジェイビーワン

# JP1

<http://www.hitachi.co.jp/soft/cert/jp1/>

## JP1認定資格講座

JP1認定資格講座は、JP1に携わる方のための各種学習プログラムをご用意しています。JP1を利用するお客さま向けの講座だけでなく、販売、システム構築、運用コンサルテーションに携わるパートナー企業さま向けの専門講座など、各フェーズに応じたきめ細かな体系です。

これによって、一定のスキル獲得、JP1の販売知識の習得、JP1の運用・構築知識の習得、JP1エキスパートの育成など、さまざまなスキルレベルに応じて適切なスキルアップをはかれます。また、「JP1認定資格」の取得を前提とした試験対策として有効な内容です。

## JP1認定資格講座の特長

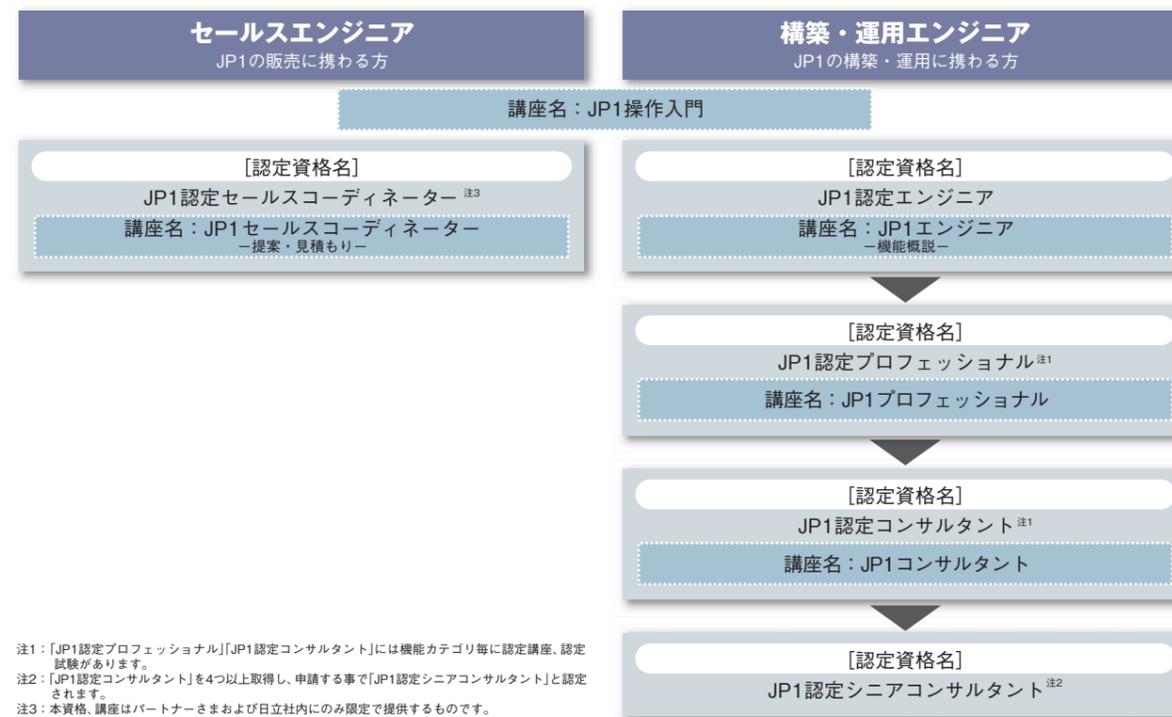
JP1の4つのカテゴリ（モニタリング、ITコンプライアンス、オートメーション、ファウンデーション）に対応した講座体系となっており、システム運用の新しい知識やノウハウを効率よく習得できます。

## 「JP1認定資格」取得へ

JP1認定資格は、JP1のセールススキル、テクニカルスキルを日立オープンミドルウェア技術者認定センターが認定する認定資格です。認定資格試験は、厳格、公正な評価基準のもとに採点されます。

JP1認定資格の取得者は、JP1に関するスキルレベルを客観的に示すことができるので、JP1をご利用いただくお客さま、ソリューションやサービスを提供する方々に高い評価をもたらします。また、人材教育やプロジェクトにおけるテクニカルレベルを図る尺度としても活用できます。

## JP1認定資格制度 体系図



JP1の適切な提案、  
見積もりができる

JP1各カテゴリ  
製品の導入と  
システム構築が  
できる

適切な  
コンサルテーションが  
できる

トータル  
ソリューションを  
実現する

認定資格試験問題例 (JP1認定エンジニアより)  
次の説明は、統合管理の機能について述べたものである。  
【 】に入る適切な語句はどれか。  
統合管理では、ネットワーク、サーバ、アプリケーションなどの管理を、  
一元的に管理者の視点で監視することができる【 】の機能がある。  
解答群  
1. 統合コンソール  
2. 統合監視ビュー  
3. 目的指向型統合ビュー  
4. 管理者視点コンソール

認定資格試験問題例 (JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理より)  
JP1/AJSSでPCジョブの終了判定を次のように設定した場合の動作として、正しいものはどれか。  
判定結果：しきい値による判定  
警告しきい値：5  
異常しきい値：10  
解答群  
1. 終了コードが10のときは、異常終了となる。  
2. 終了コードが9のときは、異常終了となる。  
3. 終了コードが8のときは、異常終了となる。  
4. 終了コードが-1のときは、異常終了となる。

Cosminexus認定資格が取得できる幅広い内容の講座群です。

コズミネクサス

# Cosminexus

<http://www.hitachi.co.jp/soft/cert/cosmi/>

## Cosminexus認定資格講座

Cosminexus認定資格講座は、Cosminexusの運用・維持に携わるお客さまや、販売や構築に携わるパートナーさまが、効率よくスキルアップをはかれるような体系になっています。

これらの講座を受講することによって、一定のスキルの獲得、Cosminexusの販売知識の習得、Cosminexusの構築に携わるエキスパートの育成など、スキルレベルに応じた適切なスキルアップがはかれます。各講座は「Cosminexus 認定資格」の取得を目的とした試験対策としても有効な内容になっています。

## Cosminexus認定資格講座の特長

Webシステムの中核であるアプリケーションサーバや、クラウドシステムに欠かせないSOA製品を中心に、基礎から高度なノウハウまでを解説する、幅広い内容の講座群となっております。

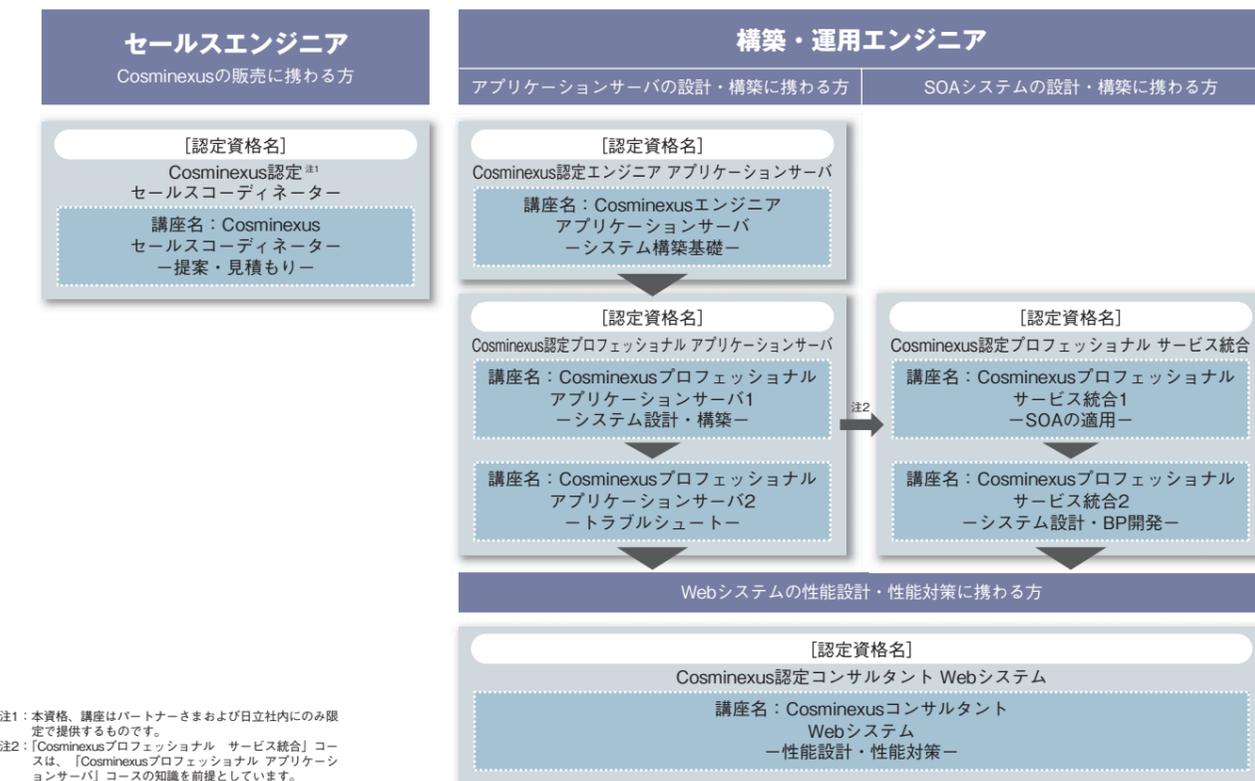
SOA : Service Oriented Architecture

## 「Cosminexus認定資格」取得へ

Cosminexus認定資格は、Cosminexusのセールススキル、テクニカルスキルを日立オープンミドルウェア技術者認定センターが認定する資格です。認定資格試験は、厳格、公正な評価基準のもとに採点されます。

Cosminexus認定資格の取得者は、Cosminexusに関するスキルレベルを客観的に示すことができるので、Cosminexusをご利用いただくお客さま、ソリューションサービスを提供する方々に高い評価と信頼をもたらします。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

## Cosminexus認定資格制度 体系図



HiRDB認定資格に認定講座が新登場。業務やスキルにあった認定資格を取得できます。

ハイアールディービー

# HiRDB

<http://www.hitachi.co.jp/soft/cert/hirdb/>

## HiRDB認定資格講座

HiRDB認定資格講座は、HiRDBの販売に携わる方向け、リレーショナルデータベースの基礎知識を既にお持ちでHiRDBの構築や運用を効率よく習得したい方向け、HiRDBを使った業務アプリケーション開発に携わる方向けなど、業務の分野やレベルに応じて適切なレベルアップがはかれるように体系化しています。各認定資格講座は「HiRDB認定資格」の取得を目的とした内容となっており、マニュアルや従来の研修では扱わなかった「ノウハウ」について、取り上げています。

## HiRDB認定資格講座の特長

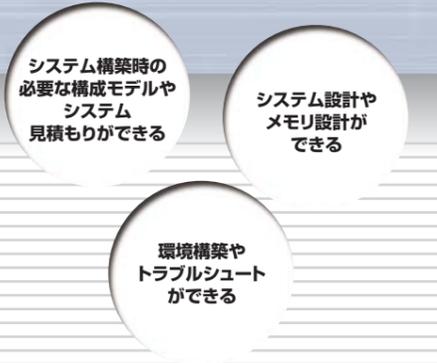
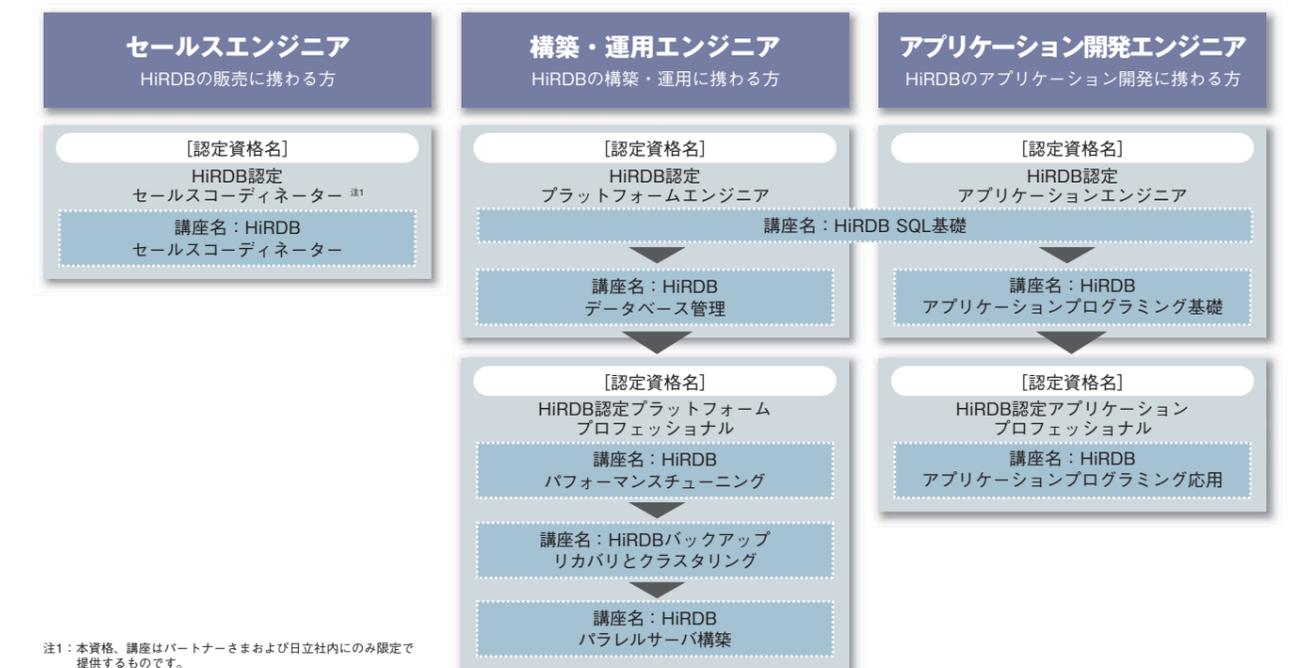
構築・運用エンジニア向け講座、アプリケーション開発エンジニア向け講座と目的別に講座が分かれており、他社DBMS有識者がHiRDBの技術を短期間で習得できるメニュー体系となっております。

## 「HiRDB認定資格」取得へ

HiRDB認定資格は、HiRDBのセールススキル、テクニカルスキルを日立オープンミドルウェア技術者認定センターが認定する資格です。認定資格試験は、厳格、公正な評価基準のもとに採点されます。

HiRDB認定資格の取得者は、HiRDBに関するスキルレベルを客観的に示すことができるので、HiRDBをご利用いただくお客さま、ソリューションやサービスを提供する方々に高い評価と信用をもたらします。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

## HiRDB認定資格制度 体系図



認定資格試験問題例 (Cosminexus 認定エンジニアより)

JavaVMのメモリ管理には、GCという仕組みがある。このGCのひとつであるFull GCの説明で、正しいものは、次のうちどれか。

解答群

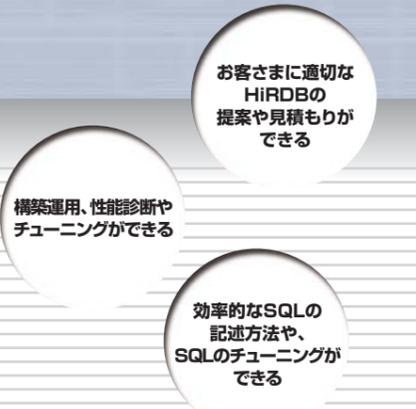
1. JavaヒープのEdenがあふれると発生する。
2. JavaVM上のGC以外の処理が一時的に停止する。
3. Copy GCより処理時間が短い。
4. JavaヒープとCヒープを対象に使用済み領域を解放し、領域の再配置を行う。

認定資格試験問題例 (Cosminexus 認定エンジニアより)

アプリケーションサーバのWebコンテナでは、リクエストが集中して負荷が増大しても、安定した応答を返すために、流量制御を行っている。業務ごとに、最もきめ細かく流量制御できるレベルは、次のうちどれか。

解答群

1. URLグループ単位
2. セッション単位
3. Webアプリケーション単位
4. Webコンテナ単位



認定資格試験問題例 (HiRDB 認定プラットフォームエンジニアより)

HiRDBで表やインデックスのデータ入出力時にデータを格納する領域はどれか。

解答群

1. ディクショナリ用バッファ
2. グローバルバッファ
3. ログバッファ
4. SQLオブジェクトバッファ

認定資格試験問題例 (HiRDB 認定プラットフォームエンジニアより)

EDAYが日付型のとき、従業員表(EMP)から、2010年3月31日までに入社した従業員の従業員番号(EMPLOYEE\_ID)と従業員名(ENAME)を検索するSQLはどれか。

解答群

1. SELECT EMPLOYEE\_ID, ENAME FROM EMP WHERE EDAY IN '2010-03-31'
2. SELECT EMPLOYEE\_ID, ENAME FROM EMP WHERE EDAY <= '2010-03-31'
3. SELECT EMPLOYEE\_ID, ENAME FROM EMP WHERE EDAY <= '2010-03-31'
4. SELECT EMPLOYEE\_ID, ENAME FROM EMP WHERE EDAY <= '2010-03-31'